

Development of the Non-Contact Gesture Operation Interface 'Opect3D' and Clinical Evaluation of Its Use in Cerebral Blood Vessel Cases

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 千葉, 慎二 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032111

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 680 号	氏 名	千 葉 慎 二
審 査 委 員 会	主 査 教 授	村 垣 善 浩	
論文審査の要旨 (400 字以内) 術者は術中に医用画像の確認を行う際、清潔を保つため第三者に指示しコンピュータを操作しなければならないが、確認に時間を要し、指示への心理的負担がある。 本研究では三次元医用画像を片手で非接触操作できる Opect3D を開発し、有効性を評価した。技師への口頭指示による従来手法での操作時間が平均 24.1 秒であったのと比較し、Opect3D の提案手法は 12.8 秒と有意に短かかった。角度差は従来手法の平均 9.0 度と比較し、提案手法も 9.4 度と正確性に差が認められなかった。心理負担の軽減等に関するアンケート結果は 5 点満点中平均 4.7 点、臨床使用では平均 4.0 点であった。 Opect3D は従来手法と同等の正確さで操作時間を有意に短縮でき、心理的負担の軽減に役立つことが示唆された。Opect3D は本実験で実施した手術に限らず、同様の状況が求められる多くの医学分野に適用できると考える。			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			